

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浴場	階数	地上2F
建設地	神奈川県横須賀市走水1-10-20	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、市街化区域	平均居住人員	2,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	700 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年7月8日
敷地面積	4,773 m <sup>2</sup>	作成者	パシフィックコンサルタンツ株式会社一級建築士事務所
建築面積	2,125 m <sup>2</sup>	確認日	2015年7月20日
延床面積	2,395 m <sup>2</sup>	確認者	パシフィックコンサルタンツ株式会社一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能 5  
Q1 室内環境 4  
Q3 室外環境(敷地内) 3  
LR1 エネルギー 2  
LR2 資源・マテリアル 1  
LR3 敷地外環境 1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2

### LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 防衛大学校内の浴場棟という沿岸地区である特殊な設計条件で、環境に配慮した設計とした。		計画地直下に埋蔵文化財があり、調査発掘の上、保存の取組みを行なった。
<b>Q1 室内環境</b> 個別暖房方式で、室内負荷用ファンコンベクタと外気処理空調機が分かれており、ゾーン制御に配慮している。個別換気が30m <sup>3</sup> /h人で計画している。	<b>Q2 サービス性能</b> ダクト及び配管の長寿命化を配慮している。また、機器も15年寿命を確保している。空調換気設備は個別式であり、災害・事故時の信頼性を確保できる。空調設備と給排水管の更新性はレベル3を確保した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内にある植物・表土を可能な限り保全している。
<b>LR1 エネルギー</b> 壁、屋根等を高断熱化し、PAL低減率 レベル5を確保した。冬期室温を15℃とし、設備システムの高効率化もレベル4を確保した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> シャワーに自閉式を使用し、節水効果を高めた。冷媒ガスは未使用とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物の高さや外装を周辺環境に配慮した計画とした。仮想敷地内に給湯設備は設置していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される